

第90回 薬事エキスパート研修会

配合降圧剤開発の実際と留意点

—配合降圧剤のメリット/デメリットを探る—

主催 財団法人日本公定書協会
 後援 日本製薬団体連合会
 日本製薬工業協会
 社団法人東京医薬品工業協会
 大阪医薬品協会
 日本 OTC 医薬品協会
 日本ジェネリック製薬協会

米国研究製薬工業協会(PhRMA)
 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
 日本 CRO 協会
 社団法人日本医薬品卸業連合会
 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団

欧米では、生活習慣病等の慢性疾患の配合剤の開発及び市場投入が大きな課題となり、多くの配合剤が開発され、上市されています。一方、わが国においても米国の動きを受けて、同種系統薬剤（降圧薬）の配合剤に続き、最近、異種系統薬剤である降圧剤と高脂血症薬との配合剤が承認され、また、多くの配合剤の開発が進められています。配合剤は、配合による意義のほか、患者の QOL やコンプライアンスの向上等が期待され、今後、配合剤の開発が進むと考えられます。

そこで今回、製薬企業の臨床開発経験者をお招きして各承認取得されている降圧薬配合剤の開発企業のご経験に関するご講演と、臨床開発に携わった医療現場の専門医から配合剤開発の実際と留意点、配合剤の配合の意義等についてご講演をいただいた後、その意義やメリット/デメリット等についてご討論を頂き、今後の配合剤開発に関わる課題と対策に迫っていきたくと考えています。

本研修会の趣旨にご賛同いただき、多くの皆様方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

| 日 時 | 場 所 |
|-----------------------------------|--|
| 平成 23 年 2 月 2 日(水) 13:00～17:00 | 日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は協会ホームページをご覧ください |

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記の払込取扱票にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の払込取扱票使用

法人会員以外：

ゆうちょ銀行、郵便局備えつけの払込取扱票使用

振込先：(財)日本公定書協会

振替口座 00190-9-97409

* 次の事項を払込取扱票の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。平成 23 年 1 月 4 日（火）より聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

通信欄に必ずご記入下さい。

- (1) 会社名、所属
- (2) 聴講者名：1 枚につき 1 氏名
- (3) 連絡先：郵便番号、住所、電話番号
- (4) 「90-配合降圧」の文字
- (5) e-mail (研修会の案内をご希望の方のみ)

* ゆうちょ銀行及び郵便局以外の銀行振込、現金送金はご遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受け付けます。

平成 23 年 1 月 19 日（水）以降のお振り込みの場合は下記問合先にご連絡下さい。又は、協会ホームページ (<http://www.sjp.jp>) をご覧ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

- ・ 日本公定書協会法人会員
1 名につき 10,000 円
(法人会員は 1 口につき 4 名が会員扱い)
- ・ 個人会員/非会員 1 名につき 15,000 円
- ・ 行政/アカデミア/医療機関/学生
1 名につき 3,000 円

なお、受講者の方は、わが国の医薬品リスクマネジメントに関連する薬事法や制度等の成り立ちの概要を理解しやすく解説した初めての日英対訳本「日本における医薬品のリスクマネジメント」を特別価格 9,900 円でご購入頂けます。ご希望の方は受講料に加算して振込用紙にてお振込下さい。研修会当日にお渡し致します。

3. 問合先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
 財団法人 日本公定書協会
 電話 03-3400-5634 (代)
 03-3400-5644 (薬事エキスパート研修担当)

4. 注意事項

- 法人会員にお送りした規定の払込取扱票は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。
- 当日、撮影及び録音はご遠慮願います。
- 原則として電話、FAX、での受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第 90 回 薬事エキスパート研修会
配合降圧剤開発の実際と留意点
—配合降圧剤のメリット/デメリットを探る—

平成 23 年 2 月 2 日 (水) 日本薬学会 長井記念ホール
(受付開始予定 12:00)

13:00～13:05 開会挨拶

寺尾 允男
(日本公定書協会会長)

13:05～13:45 製薬企業の臨床開発の立場から① (コディオ他の開発について)

田中 則之
(ノバルティスファーマ株式会社臨床研究第 1 部部長)

13:45～14:15 製薬企業の臨床開発の立場から② (プレミネットの開発について)

沼口 裕隆
(MSD 株式会社グローバル研究開発本部ディレクター)

14:15～14:35 休 憩

14:35～15:45 臨床開発医学専門家の立場から

猿田 享男
(慶應義塾大学名誉教授)

15:45～16:00 追加発言

成川 衛
(北里大学大学院薬学研究科医薬開発学准教授)

16:00～17:00 総合討論

共同司会： 成川 衛 (北里大学大学院薬学研究科医薬開発学准教授)
野口 隆志 (昭和大学薬学部臨床薬学教室客員教授)

(演題, 講師, 時間等一部変更する場合がありますので, 予めご了承下さい.)

財団法人日本公定書協会
<http://www.sjp.jp>